NPO法人アーティスト・コレクティヴ・フチュウ(ACF)

2022年度 アニュアルレポート

Artist
Collective
Fuchu

2022年度事業概要

　2022年度は、コロナ禍3年目であったが社会情勢と並行して、ACFの各事業も活発化した。基盤固めが進み、活動を応援してくださる方も増えてネットワークの広がりが見られた。具体的には、大東京綜合卸売センターにACFスペース「やど(仮)」をオープンし、ACFの拠点事業に発展をもたらした。また、府中市との協働事業「ラッコルタ」も２年目を迎え、多数のイベント招致参加により担当課及び市の施設との良好な関係を構築することができた。その一貫で府中市協働推進課から受託した「府中市・ウィーン市ヘルナルス区友好協定締結30周年記念展」の制作・運営は、参加したACFメンバーそれぞれの専門性を活かすことができ、今後の活動の視野が広がった。

アーツカウンシル東京共催事業
「アートポイント計画」

・null -自由な場所とアートなこと-
・ラッコルタ- 創造素材ラボ -
・まなばぁーと
・ACF場づくり
・ラジオ番組「Artist Collective Fuchu presents おとのふね」
・かわら版「かみひこうき」
・公式ウェブサイト
・広報宣伝活動

受託事業

・府中市・ウィーン市ヘルナルス区友好協定締結30周年記念展

独立運営事業

・ホームムービーの日 in 東京府中
・フィルム写真部 & 写真倶楽部ビッテ

会員数（2022年度）

正会員　　12名
賛助会員　25名

共催（「アートポイント計画」）
公益財団法人東京都歴史文化財団
アーツカウンシル東京、東京都

協働（ラッコルタ）
府中市文化生涯学習課

null［ヌル］
- 自由な場所とアートなこと -

https://acf-tokyo.com/null/

アーツカウンシル東京共催事業　コミュニティサロン事業

（事業概要）

色んな価値観が混ざり合い文化的なアート自治コミュニティをつくるためのプロジェクト。アートを軸にした多様でディープな人と人、人と場所、人とコトのネットワークを広げていくプロジェクト。

（今年度の活動概要）

今年度はACFの新拠点であるやど(仮)を会場として、大東京綜合卸売センターでの活動を積極的に行った。市場の方々との交流が増え、企画の提案をいただくなどACFの新たな展開のきっかけが生まれ始めている。

従事者人数：　2名

◆「null -自由な場所とアートなこと-」 イメージビジュアル展

日程：2022年8月1日～8月6日　11:00～14:00

場所：大東京綜合卸売センター 第４通路 「やど（仮）」

参加人数：　約133名

レポートはこちら！

◆null vol.8 @大東京綜合卸売センター「やど(仮)」 ポストカード投稿 & Instagram

大東京綜合卸売センターの第４通路に設けられたACFのスペース「やど(仮)」や、その周辺店舗に設置されたポストカードに参加したい人が記載し、「**自分でつくったもの**」をテーマに、やど(仮)にて投稿した。ACFに繋がりのない方々を含む40枚のカードが寄せられ、やど(仮)で展示したほか、ラジオ番組「おとのふね」でも紹介した。

日程：2023年2月1日～年2月18日　11：00～15：00

場所：やど(仮)

ポストカード投稿の協力店補：ズッコロッカ・ココロータス（Cocorotus）・アジアンミール・府中観光協会

参加人数：　約40名

レポートはこちら！

◆null vol.8 イベント
@大東京綜合卸売センター「やど(仮)」

上記のポストカード投稿と並行して、イベント「アートオークションごっこ」を開催した。イベント「アートオークションごっこ」では、参加者が持ち寄った「**自分でつくったもの**」をアートオークション形式で競り落とすロールプレイを行い、アートとは何かを考えるとともに、互いの交流を深めることができた。

日程：2023年2月18日　13：00～15：00

場所：やど(仮)

レポートはこちら！

ラッコルタ
-創造素材ラボ-

https://acf-tokyo.com/raccolta/

*アーツカウンシル東京共催事業 拠点事業　*府中市市民提案型協働事業

（事業概要）

地元企業から提供された不要な部材を、創造活動に転用する仕組みづくり。 アーティストのワークショップを通じて、子供や大人が素材から発想した表現活動に取り組み、新たな視点を培うことを目的にしている。

（今年度の活動概要）

・ワークショップを実施　　*詳細は次ページ以降参照

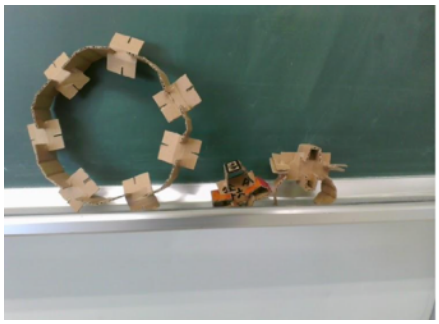
■市との連携強化のため、他の課の事業でのプログラムを展開した。

■府中市が主催する地域の施設やお祭りで積極的にワークショップを行い、市民周知や関係性作りに励んだ。

■メイン企画として「ラッコルタ -創造素材ラボ-vol.2 ワークショップ＋展覧会」を開催した。

・素材提供先の企業を増やした。

　資材協力：玉川石材工業株式会社、株式会社TOKIO Lab、日本光具株式会社、一般社団法人まちづくり府中、株式会社F.F.P.、株式会社協和、樋口鞄工房株式会社、株式会社サーカス、サトー洋裁教室、矢島歯科医院、GREEN、読売センター府中第一



・外部への素材提供を実施した。

　使用状況のレポートをいただくことを条件に、教育福祉機関をはじめ、希望のある方々に素材を提供。そこで実現された新たな視点をアーカイブし、素材の価値が変わり続ける過程と結果を記録していく。愛媛県西条市の小学校に15箱ほど、そのほか、府中市立南白糸台小学校、北区の障害者福祉施設、国立市の聴覚者障害のグループほか、多様な団体へ提供した。

＊本事業は令和3-4年度市民提案型協働事業として採択され、府中市の文化生涯学習課と協働した。

従事者人数　　：11名

◆環境まつり2022　「ラッコルタ-創造素材ラボ-」紹介

府中市では、地球温暖化防止、自然保護、ごみ減量や3R推進等、環境について楽しみながら学び、考えることができるイベントとして、環境月間である6月に「府中環境まつり」をオンラインで開催。特設ページ上に、ラッコルタの紹介映像にて参加。

日程：2022年6月6日より月末まで
場所：オンライン特設ページ

◆生涯学習フェスティバル　「ラッコルタ-創造素材ラボ-」ワークショップ

段ボール梱包材やランドセル合皮、端布などの廃材を使って、二次元から三次元へ　パズルのように材料を組み合わせ、自分だけのカタチを立ち上げるワークショップ。レポートはこちら。

日程：2022年9月10日（土） 13:00～17:00
場所：府中市生涯学習センター3階　研修室3-1
参加人数：大人 26 名 子供 30 名

◆市民文化の日　「ラッコルタ-創造素材ラボ-」ワークショップ

段ボール梱包材やランドセル合皮、端布などの廃材を使って、二次元から三次元へ　パズルのように材料を組み合わせ、自分だけのカタチを立ち上げるワークショップ。レポートはこちら。

日程：2022年10月9日（日） 10:00～14:00
場所：府中市生涯学習センター2階　研修室2-1 2-2
参加人数：約21名

◆地域文化祭（片町文化センター）「ラッコルタ-創造素材ラボ-」ワークショップ

段ボール梱包材やランドセル合皮、端布などの材料を自由に組み合わせ、自分だけのカタチを立ち上げるワークショップ。畳と机で制作場所を分ける工夫をしました。レポートはこちら。

日程：2022年10月29日（土） 13:00～16:00
場所：片町文化センター3階　第二会議室
参加人数：約55名　20組

◆Artpoint Meeting #10 - アートがひらく、“学び”の可能性 - 事業報告

日程：2022年11月23日（水・祝） 14:00～17:00
場所：武蔵野プレイス 4Fフォーラム

◆第8回府中市民協働まつり「ラッコルタ-創造素材ラボ-」ブース出展

段ボール梱包材を使ったワークショップやラッコルタの活動事例をパネルや刊行物で紹介し、企業から提供いただいた素材を展示。

日程：2022年11月26日（土） 10:00～16:00
場所：府中市市民活動センター プラッツ　6階 第1会議室
参加人数：約60名

◆ラッコルタ – 創造素材ラボ- vol.2「いしのこえとみかげ」ワークショップ

墓石を扱ってきた玉川石材工業株式会社の資材協力のもと、アートユニット・MATHRAXによる「石にふれて石の声をきく」ワークショップを開催。参加費500円。レポートはこちら。

日程：2023年2月19日(日) 午前の部 (10:00-12:00) 、午後の部 (14:00-16:00)
場所：府中市生涯学習センター 3F 和室(談話)＋工房１(工作)
参加人数：19組　33名

◆ラッコルタ – 創造素材ラボ- vol.2「いしのこえとみかげ」成果展

ワークショップ参加者とともにつくり上げた作品の展示、講師のMATHRAXの活動や素材提供会社へのインタビュー映像などを展示。レポートはこちら。

日程：2023年3月4日(土)～3月12日(日)　10:00 – 16:00
場所：府中市郷土の森博物館　旧田中家住宅
参加人数：約1078名

＊「アートポイント計画」事業外として、以下の「ラッコルタ」ワークショップも開催した。

◆ラッコルタ-創造素材ラボ- 「生活の中にアートを」

ランドセルメーカーの端材を中心に、梱包材や端布を使ったアップサイクルワークショップ

日程：2022年9月18日(日) 11:00～16:00
場所：総合住宅展示場　ハウジングステージ新宿
参加人数：約30名

◆ラッコルタ-創造素材ラボ- 「みたことないものつくろう！」

段ボールチップを素材の中心としたワークショップ

日程：2022年11月6日(日) 10:00～15:00
場所：ミッテン府中 7階催事場
参加人数：約16名

◆ 川崎市コンベンションホール感謝祭2023「ラッコルタ -創造素材ラボ-」

段ボールチップを素材の中心としたワークショップ

日程：2023年3月18日(土) 11:00～:14:00
場所：パークシティ武蔵小杉 ザガーデンタワーズイースト2階
参加人数：約70名

◆ たまいまマルシェ「ラッコルタ -創造素材ラボ-」

府中市東部/多磨地域の企業素材に特化したワークショップ

日程：2023年3月19日(日) 11:00～:16:00
場所：西武鉄道多摩川線多磨駅西口/東口周辺すぐ
参加人数：約16名

まなばあーと

https://acf-tokyo.com/manabart/

*アーツカウンシル東京共催事業　拠点事業

（事業概要）

日常の暮らしの中に「自分らしい表現・発想」を見出す、新しい学びの場。さまざまな実践者へのヒアリングを行うことで、身近なところに視点を向け、当たり前を解きほぐし、新たな気づきをもたらすリサーチプログラム。

（今年度の活動概要）

同じアートポイント計画の団体であるNPO法人　アートフル・アクションと交流することで、アートを媒介とした「まなび」の可能性について、個人、団体として考えるきっかけとなった。アートポイント計画の先輩でもあるアートフル・アクションの活動や団体運営、自治体連携についてヒアリングを行った。またアートポイントミーティングの参加にも繋がり、市内だけでなく多くの方にACFの事業を知っていただき、今後の活動にも広がりができた。

従事者人数　　：１名

◆東京アートポイント計画団体交流会　NPO法人 アートフル･ アクション（AFA）

日程：2022年7月24日

場所：サングリア

参加人数：12名

レポートはこちら。

かみひこうき

Artist Collective Fuchu［ACF］かわら版

https://acf-tokyo.com/kamihikoki/

*アーツカウンシル東京共催事業 メディアプログラム

（事業概要）

アート×人×府中をテーマに府中の面白いコト、人、場所を紹介する。
編集も記事の執筆も未経験の編集部員が毎回試行錯誤しながら発行している。

（今年度の活動概要）

今年度は、店舗に置きやすく手にとってもらいやすいように、判型を4号からA5に変更。
内容は、特集記事とACFのプロジェクト紹介を掲載し、特集記事では市内の興味のある場所、人に焦点を当て取材を行った。8月に４号、2月に５号を発行した。

４号：特集　星星峡（null－自由な場所とアートなこと- 協力店）
　　プロジェクト紹介　null－自由な場所とアートなこと-

５号：特集　大東京綜合卸売センター
　　プロジェクト紹介　ACF拠点事業

府中市内の施設やアートギャラリー、50箇所にて配布した。

従事者人数　　：4名

府中市・ウィーン市ヘルナルス区
友好協定締結30周年記念展

*受託事業

（事業概要）

　オーストリア共和国ウィーン市ヘルナルス区との友好協定締結30周年を記念した事業が、府中市の主催で開催された。ACFはバルトホールにおける記念展を担当し、これまでの交流の歴史を振り返るとともに、異文化交流の橋渡しを次世代へとつなげることをテーマに、展示およびワークショップのデザイン・設営・運営を受託した。（協力・NPO法人 府中国際友好交流会）

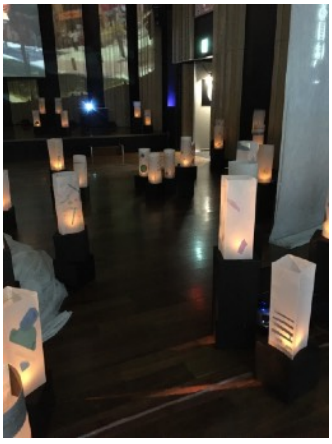
従事者人数　　：11名

◆ワークショップ　本宿小学校・府中第九中学校

ACFが担当する展示会「府中市・ウィーン市ヘルナルス区友好協定締結30周年記念展　HOF　国際交流が紡ぎ出す　映像インスタレーション」で展示するランタンや写真作品を制作するワークショップを、ACFとアートユニットBLANCOが運営。異文化や国際交流を身の回りのコトとして考え、カタチにすることをコンセプトに実施した。

＜本宿小学校＞「祭」をテーマにしたランタン作り
日程：2022年10月11日
参加人数：5年生 122名

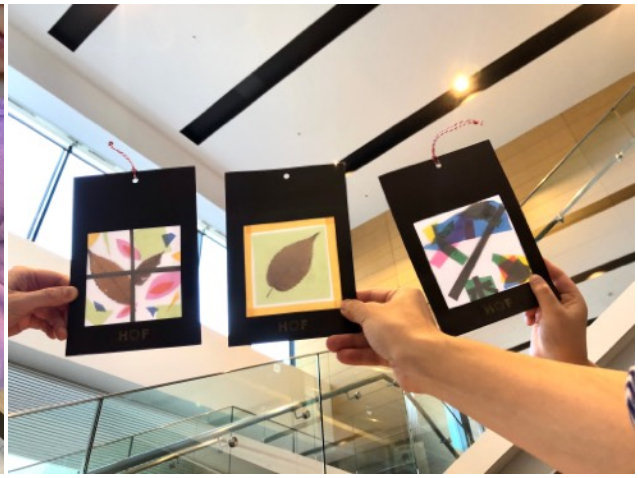
＜府中第九中学校＞「ウチ」と「ソト」ってどこ？～日本人の「うちそと」文化から読み解く国際交流 ～「ソト」に向けて「ウチ」にしかないモノ/コト/ケシキを紹介しよう。
日程：2022年9月26日
参加人数：中学1年～3年希望者 20名、関係者17名



◆府中市・ウィーン市ヘルナルス区 友好協定締結30周年記念展
HOF　国際交流が紡ぎ出す　映像インスタレーション

上記ワークショップで小中学生が制作した作品を紹介しながら、府中とヘルナルスの風景を映した映像の「窓」を配したアート展示に加えて、アートワークショップとロビーコンサートを開催した。

アート展示　～ウチとソトが出会う「中庭 - HOF（ホーフ） - 」から「広場 - PLATZ（プラッツ） - 」へ～
日程：11月1日（火）～3日（木）
入場人数：528名
（ロビーコンサート鑑賞者・ワークショップ入場者を含む）
アートワークショップ　- 2つの窓が交わる世界を楽しもう~
日程：11月3日（木）
参加人数：171名（上記528名のうち）
ロビーコンサート　フルートとハープによる「ウィーンの響き」
日程：11月3日（木）



ホームムービーの日 in 東京府中

https://hmd.acf-tokyo.com/

*自主事業

（事業概要）

個人宅で見つかった8mmフィルムのホームムービー（家庭映画）を発掘し、無料上映する企画。

（今年度の活動概要）

ACFスペース「やど(仮)」のほか、府中テラス、国立旧駅舎、ルミエール府中など、スペース所有者から誘っていただく形での上映が実現した。各会とも、ACFフィルム写真部の活動で見つかった古写真をまとめたファイルを展示した。また8mmフィルムを保存・活用するフィルムアーカイブ案を府中市の関係者とも共有することができ、フィルム倉庫の見学も行った。その他、国立フィルムアーカイブ展示室への遠足も実施した。

従事者人数　　：6名

◆府中史談会 総会での上映

府中史談会の総会で、矢島家フィルムを上映した。

日程：2022年5月22日
場所：プラッツ
参加人数：50名程度

◆市場でビデオ上映　@やど(仮)

大東京綜合卸売センター内のACFスペース「やど(仮)」の白壁に直接投影する上映を実施。市場のお客さんが通りすがりに興味を持って足を止めた。8mmフィルムを持っている方にも出会い、良い活動PRとなった。市場の店舗オーナーのフィルムも上映した。レポートはこちら

日程：2022年7月12日・15日
場所：やど(仮)
参加人数：30名程度

◆夕暮れ上映会 Vol. 1 @府中テラス

大國魂神社前のレストラン「府中テラス」の敷地内で野外上映を実施。日暮れから開始した。20席ほどの椅子が満席となり、通りすがりの人や、立ち見で盛況となった。（一社）まちづくり府中との共催事業。レポートはこちら

日程：2022年9月17日
場所：BASE.S CAFE & DINER 府中テラス
参加人数：30名程度

◆旧国立駅舎 ビデオ上映

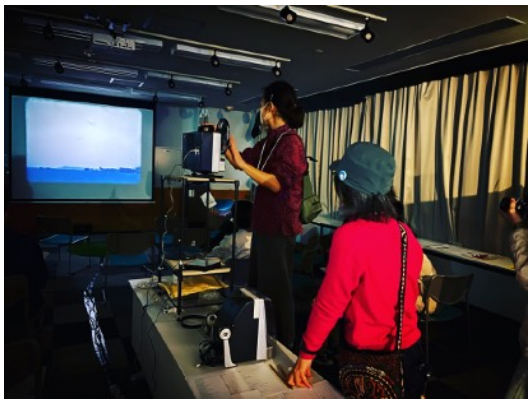
多摩霊園のコミュニティカフェ「FLAT　STAND」の出張イベント「FLAT STAND @旧国立駅舎-ヒト、モノ、コトの出会い-」に参加。「旅」をテーマに選んだホームムービー映像を上映した。レポートはこちら

日程：2022年9月24日
場所：旧国立駅舎
参加人数：25名程度

◆ルミエール府中 リニューアルオープンイベント

ルミエール府中リニューアルオープンイベントに参加。２スクリーンでビデオのループ上映のほか、上映時間を決めてフィルム上映も行った。
本イベントは、市長や市議会議員をはじめ多くの市民が訪れるイベントだった。レポートはこちら

日程：2023年3月4日・5日
場所：ルミエール府中 第１・２会議室
参加人数：240名程度



ラジオ番組「Artist Collective Fuchu presents おとのふね」

https://acf-tokyo.com/radio/

* アーツカウンシル東京共催事業 メディアプログラム

（事業概要）

毎月第一火曜にラジオフチューズで放送するトーク番組を制作。ACF会員を中心に府中にゆかりのあるゲストを呼ぶ「オープンデッキサロン」のコーナー、ACF会員が関わるイベントを紹介する「アートナイトクルージング」コーナーを継続している。

（今年度の活動概要）

ディレクターの平田誠、パーソナリティの宮川亜弓、サブパーソナリティの田中麻子、坂巻亜希、梅原優、馬渕愛のほか、高橋真美がスタッフとして加わった。

また、野外収録など、ゲストの活動エリアに寄り添うことを目指して収録場所を工夫し、そして「ラッコルタ」「null」「ウィーン交流30周年記念展示」のレポートなどACFの事業やイベントをタイムリーに伝えることに注力した。

また、新たにPodcastのアカウント開設の準備をして、新たなリスナーの獲得を目指した。

従事者人数：　7名（他に出演者13名）

受益者対象者人数：　のべ 約5,000名

日程：2022年４月～2023年３月の間、12回放送

毎月第一火曜日　各回22:00から30分　*別途再放送24回

場所：ラジオフチューズ（87.4hz）、インターネットアプリ リスラジ

（2023年4月より「F＋＋」）、ACF YouTubeチャンネル

① 4月8日：佐藤嘉久　株式会社慈久舎代表　とりときハウスギャラリー運営（収録：とりときハウス カフェ）

② 5月3日：小林えみ　マルジナリア書店オーナー　出版社よはく舎代表（収録：マルジナリア書店）

③ 6月7日：つん【tsun】　画家　写真家（収録：府中乃森珈琲店）

④ 7月5日：寄田みゆき　漫画家（収録：清田写真スタジオ）

⑤ 8月2日：糟谷明範　株式会社シンクハピネス　代表取締役（収録：FLAT STAND）

⑥ 9月6日：木村康子　株式会社サーカス 代表取締役（収録：株式会社サーカス ）

⑦ 10月4日：遠藤尚子　フルート奏者　府中国際友好交流会理事（収録：レストラン サングリア）

⑧ 11月1日：関谷昴　タウンコーディネーター（収録：Co-study space Posse）

⑨ 12月6日：西郷昌高　府中トコロジスト　つなぎすと府中（収録：大國魂神社及び周辺エリア）

⑩ 1月3日：髙木有規　石の彫刻家（収録：ギャラリーゆうき）

⑪ 2月7日：高橋真美　グラフィックデザイナー　フォトグラファー（収録：レストラン サングリア）

⑫ 3月7日：佐藤翔子、山浦靖彦　null運営スタッフ（収録：大東京総合卸売センター内やど(仮)）

ラジオ番組「おとのふね」収録風景

ACF場づくり

https://acf-tokyo.com/news/market1/

*アーツカウンシル東京共催事業　拠点事業

（事業概要）

ACFの事業や運営の拠点となる場所を模索する。

（今年度の活動概要）

今年度は、大東京綜合卸売センターの２スペースを借りることができ、会員の交流も兼ねて改装を行い、スペース名を「やど(仮)」、２つのスペースをそれぞれ「ギャラリースペース」「談話スペース」と名付けた。オープンしたスペースでは、展示やイベントを開催することができた。

*やど(仮)２スペースのうち、ギャラリースペースは10月末で終了となり、談話スペースのみ継続している。

このことから、現在ACFは以下の３つの拠点で、それぞれの機能を活かして活動する形となった。①会議スペース：サングリアおよびマーブル、②備品倉庫：矢島さんの賃貸アパート、③展示イベントスペース：「やど(仮)」

◆やど(仮)　壁塗り・内装　および　お披露目＆交流会

ACF会員以外にも広く声をかけ、壁塗りや内装が終わったあと、お披露目と交流会を開催し、会員を広げるきっかけを作った。

日程：壁塗り 2022年6月18～7月2日のうち4日間 / お披露目＆交流会 7月10日
場所：大東京綜合卸売センター 第4通路
参加人数：13名程度

◆やど(仮)　2022年度使用実績

7月12日・15日　ホームムービーの日 ビデオ上映
8月1日-6日　「null -自由な場所とアートなこと-」 イメージビジュアル展
8月～10月　府中市・ウィーン 記念展　会議およびビデオテスト
9月29日～10月12日　MA labo 作品展（アート作家 こごみつよ展）
2023年2月18日　null vol.8 イベント@大東京綜合卸売センター「やど(仮)」
2023年2月発行　「かみひこうき」でやど(仮) および卸売センターを特集

フィルム写真部　＆　写真倶楽部ビッテ

https://photo.acf-tokyo.com/

* 自主事業

（事業概要）

フィルム写真が好きなACF会員による部活動。

（今年度の活動概要）

・ACF以外に枠を広げた写真好きコミュニティ「写真倶楽部ビッテ」を立ち上げ、ビッテの簡単なルールを決めた。
・多摩霊園にある「たまれ（life design vollage FLAT）」に暗室を設置した。
・フィルム写真部を「写真倶楽部ビッテ」のコアメンバーとし、年会費3000円を徴収、活動費に充てる。フィルム実費は別途徴収した。
・ACF会員の自宅から見つかった古写真を鑑賞する会を実施。この活動で見つかったくらやみ祭りの写真をデジタル化してスライドショーを制作し、「ホームムービーの日」で上映した。
・「ホームムービーの日」上映会では毎回、古写真をまとめたファイルを展示した。
・2023年カレンダーを制作。部員による写真を月ごとに掲載。200部印刷し、配布・販売した。
販売実績：FLAT STAND 3部、Cafe Marble ２部、Cafe&Craftbeer 麻屋 4部、
マルジナリア書店 1部

日程：2021年4月～2022年3月
部員数：11名
受益対象者人数：約200名

ACF公式ウェブサイト

＊アーツカウンシル東京共催事業 メディアプログラム

（**事業概要**）

アートポイント計画事業のニュースやレポートの掲載を定期的に更新。

（**今年度の活動概要**）

ラッコルタページの大幅な改修を行い、より素材の詳細や企業側の関わり方について分かりやすいように改良を行った。

日程：2021年4月～2022年3月

従事者人数：5名　　ページビュー数：15,763回

広報宣伝活動

（**今年度の活動概要**）

・広報の連携（Webサイト掲載、SNS、メルマガ等の連携）、プレスリリース発行への体制づくりに注力した

・広報に関わるメンバー（SNS、ウェブサイト、メディア広報、メルマガ）の活動を共有する定例会議を設置

・広報活動のスケジュールを共有するなど広報活動のしやすい体制づくり

・メディアへのプレスリリース発行

- 2023年ラッコルタWS/展示にて実施
- 新聞やローカルテレビ局など約10媒体に送付

◆広報宣伝活動報告

① 府中市メール配信サービス（「ラッコルタ」）

2023/2/10配信

② J:COM番組出演（「ラッコルタ」）

番組名：ジモト応援！東京つながるNews～府中

放送日：2月15日（水）

オンエア：テレビ地デジ11チャンネル18時～、20時半、10時半、翌日午前10時

③大東京綜合卸売センター公式twitter

やど(仮)のある大東京綜合卸売センターの公式twitter。やど(仮)企画の後押しをしていただいた。

メールマガジン「アーティスト・コレクティヴ・フチュウ ニュース」

＊本体事業

（**事業概要**）

ACF主催の企画、およびACF会員が運営するイベントや展示等を告知する月１メールマガジン。

（**今年度の活動概要**）

今年度も「おとのふね」のイベント紹介コーナーと連動して情報を発信した。

日程：2022年4月～2023年3月 （月1回、9月2回、2月３回／合計15回配信）

従事者人数：1名　　メルマガ登録者数：268名

2023年度理事

理事長 杉浦一志
理事 平田誠
理事 田中麻子
理事 宮山香里
理事 西郷美絵(西郷絵海)
理事 新井有佐
理事 村上愛佳
監事 竹中裕晃
監事 山中あゆみ(宮川亜弓)

2022年度アニュアルレポート
発行：NPO法人アーティスト・コレクティヴ・フチュウ（ACF）

お問い合わせ： https://acf-tokyo.com/contact/
ACF公式ウェブサイト：https://acf-tokyo.com/
Facebook: https://www.facebook.com/ArtistCollectiveFuchu